

サービス等利用計画案

利用者氏名	水道橋 久 様	障害支援区分	区分3	相談支援事業者名	相談支援センターひまわり
障害福祉サービス受給者証番号	000XXX###	利用者負担上限額	0	計画作成担当者	六本木 はやと
地域相談支援受給者証番号	1XXX###	通所受給者証番号	000XXX\$\$\$		

計画案作成日	令和2年10月 6日	モニタリング期間（開始年月）	（6カ月ごと）	利用者同意署名欄	
--------	------------	----------------	---------	----------	--

利用者及びその家族の生活に対する意向（希望する生活）	久さんは、特別支援学校の高等部卒業後一般企業で働いていたが、『上司の注意が怖い。仕事に集中できない』と言って退職した後はひきこもりがちな生活をしてきた。昨年、父親が交通事故で右半身に後遺症が残り、久さんの面倒を見られなくなった。久さんは、『父親に世話になったので迷惑をかけたくない』『3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい』『自分のことは自分でできるようになりたい』という希望を持っているが、『今は朝も起きられない』『動く自信もない』のでそのための『準備をしたい』と思っている。また、『困りごととは相談したい』と言う気持ちがあり、一人暮らしに向けた準備をするためのグループホームの利用と就労に向けて準備をするための就労継続支援B型の通所を希望している。また、『昆虫の話ができる友達が欲しい』と思っている。父親は、『私も体が不自由になってしまい久の面倒はみられません。久には福祉サービスを利用して自立してほしい』と言っている。
総合的な援助の方針	グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみを見つけることで、『自分のことは自分でできるようになる』という目標が達成できるよう支援します。
長期目標	生活していく上での力を身につけると共に仕事を続けていく自信をつける。
短期目標	好きな趣味、活動を続けながら困った時や不安な時に相談ができるようになる。

優先順位	解決すべき課題（本人のニーズ）	支援目標	達成時期	福祉サービス等種類・内容・量（頻度・時間）	課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
1	グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。	グループホームの生活に慣れて、掃除や洗濯、調理等自分でできることを増やす。	12カ月	■共同生活援助 当該月における日数	スケジュールを覚えて生活リズムを身につける。 掃除や洗濯、調理の仕方は、世話人さんに教えてもらいます。	6カ月	
2	今は働くことに自信がないので、そのための力をつけたい。	いろいろな作業経験を積んで得意なことを見つける。	12カ月	■就労継続支援B型 当該月における日数から8日を控除した日数	就労継続支援事業所での作業を通して、経験を増やします。	6カ月	
3	困りごととは相談したい。	生活のこと、仕事のことなどで困ったり、不安だったりしたことを相談できるようになる。	12カ月	■共同生活援助 ■就労継続支援B型 ■病院 通院1回/4週間（土曜日） ■相談支援	グループホームで一日の出来事を報告します。 仕事については、就労継続支援事業所で相談します。 服薬をして定期的に通院します。	6カ月	
4	楽しみを見つけない。	好きな趣味、活動を続ける。	12カ月	■共同生活援助 ■就労継続支援B型 ■相談支援	昆虫等の趣味や友達活動等の生活上の楽しみについて話をする。	6カ月	